

2003 年度第 6 回 関東支部環境工学専門研究委員会議事録（案）

記録：吉田、修正：小瀬

1. 2003 年 10 月 15 日（水）18：00－20：45
2. 場所：建築学会 201 会議室
3. 出席者：（以下敬称略、順不同）
小瀬（東洋大学）、堀（建築研究所）、村上（芝浦工業大学）、酒井（三井住友建設）、西村（芝浦工業大学）、鍵（東京工業大学）、原（早稲田大学）、吉田（横浜国立大学）
4. 提出資料：
 - 6-0. 第 5 回議事録（案）（小瀬）
 - 6-1. 第 6 回議事次第（小瀬）
 - 6-2. 公開勉強会企画（案）（小瀬）
 - 6-3. 勉強会テーマ（小瀬）
 - 6-4. 中規模事務所建築における空調システムの劣化率算定手法に関する研究（原）
 - 6-5. 中規模事務所建築設備の保全実態と更新時期算定に関する研究（原）
 - 6-6. 日本建築学会：設計教育のあり方についての提言（西村）
 - 6-7. 2004 年度 特色のある支部活動企画の募集（事務局）
5. 審議事項
 - (1) 前回議事録の確認（小瀬）
了承
 - (2) 非公開見学会&11 月非公開勉強会日程案
 - ・ 11 月の委員会と合わせて開催する。
 - ・ 11 月 19 日（水）、26 日（水）を候補とし、日建設計東京ビルと調整（主査注：26 日に開催することで先方にお願ひしました）
 - ・ 次回非公開勉強会報告担当は、酒井（三井住友建設）、日渡（電源開発）
→日程、報告内容はメールで調整。
 - (3) 12 月非公開勉強会
 - ・ 担当は吉田委員（横浜国大）と太田委員（横浜国大）に打診
 - ・ 太田委員が無理な場合は、村上委員（芝浦工大）
 - ・ 日程、内容は主査とメールで調整
 - (4) 公開勉強会
 - ・ 3 月の支部研究発表会に合わせて開催する。
 - ・ 資料 6-3. の案<3>「環境建築の最先端とこれから」を軸に 11 月に決定
 - ・ 各委員で伝のある外部講師、各大学内関係者（パッシブ手法などを取り入れている

建築家)をあたってみる。

- ・ 内部講師(委員)2-3名
- ・ 12月5日までに詳細決定→会告に掲載

(5) 2004年度学会大会環境工学研究集会企画案

- ・ 11月7日までに案があれば主査までメール。

(6) 2004年度特色のある支部活動企画の募集

- ・ 案があれば主査までメール。

(7) 非公開勉強会

① 建築環境教育について(西村委員、資料6-6)

大学の役割、ユネスコUIA憲章やJABEEなどについて紹介があった。

② 建築設備劣化、更新について(原委員、資料6-4、6-5)

中規模事務所建築物において稼働1年目の空調システムのCOP、空調システムの消費エネルギー、一般電力の増加量ならびに冷房度日の経年変化から劣化率を算定する手法について紹介があった。

また、設備更新の評価手法として、LCC評価に専門家評価を加えて評価する手法について紹介があった。

(8) 「特色のある支部活動」公募について

アイデアがあればメールで主査まで。

(9) 「2004年度日本建築学会大会研究集会企画」について

アイデアがあればメールで主査まで。

次回 「2003年度 第7回 関東支部環境工学専門研究委員会」

日時: 2003年11月26日(水) 16:00~19:00

場所: 日建設計東京ビル(東京都千代田区飯田橋2-18-3)

非公開見学会(16:00~17:30)

委員会(17:30~19:00) 議題:

- ・ 公開勉強会の企画・講師決定
- ・ 12月の日程・非公開勉強会発表者決定
- ・ 非公開勉強会: 酒井委員(品確法アンケート関係)、日渡委員(電力関係)

時間変更の可能性がありますので、変更の場合には改めて連絡します。

以上